

世界中が注目！ 愛知で日本と世界が連携

子どもの健康と環境に関する全国調査

エコチル調査

国際シンポジウム in 名古屋

JECS International Symposium in Nagoya, Japan

2011年1月に開始したエコチル調査は、環境中の化学物質が子どもたちの成長や健康に与える影響を明らかにするため、10万人の子どもたちを胎児のときから13歳まで追跡する大規模な環境省の取組みです。現在、世界各国でも日本と連携した大規模調査が開始されつつあります。2013年秋、名古屋市に世界の研究代表者を招き、「エコチル調査 国際シンポジウム in 名古屋」を開催します。



エコチル調査
愛知ユニットセンター
マスコットキャラクター
エコネコ



日英
同時通訳
付き

日時 2013年11月15日(金)
13:30~16:00 (開場13:00)

場所 ミッドランドホール

(名古屋市中村区名駅四丁目7番1号)



JR名古屋駅から 徒歩5分
名鉄名古屋駅・近鉄名古屋駅から 徒歩3分
地下鉄名古屋駅から 徒歩1分 ※地下街から直結

参加申込 本シンポジウムの参加は事前登録が必要です。
FAXもしくはE-mail、郵送でお申し込みください。
詳細は裏面をご覧ください。

応募締切 2013年11月11日(月)

参加費 無料

託児サービス 無料 ※要事前申し込み 定員20名 先着順
(1歳から就学前までのお子様を対象です)

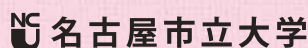
お問い合わせ先

一般社団法人環境情報科学センター内
「エコチル調査 国際シンポジウム in 名古屋」事務局
TEL:03-3265-8812

主催



共催



後援

名古屋市、一宮市、
愛知県医師会、愛知県看護協会

環境省挨拶 / 名古屋市立大学理事長・学長挨拶

開会 13:30

第一部 子どもの健康と環境に関する 各国の大規模疫学調査への取組と国際連携

13:40

コーディネーター：エコチル調査コアセンター 中山 祥嗣
ウイスコンシン大学 Ruth Etzel

- 1.1 国際連携の背景
環境省環境リスク評価室 長坂 雄一
- 1.2 米国の取組
米国子ども調査プログラムオフィス Steven Hirschfeld
- 1.3 ドイツの取組
ドイツ環境・自然保護・核安全省 Birgit Wolz
- 1.4 中国の取組
上海交通大学 Jun Jim Zhang
- 1.5 フランスの取組
フランス子ども調査(Elfe) Cecile Zaros
- 1.6 国際作業グループからの報告
ウイスコンシン大学 Ruth Etzel

休憩 14:40~14:50

第二部 エコチル調査の今後の展望

コーディネーター：名古屋市立大学 上島 通浩
エコチル調査コアセンター 川本 俊弘

- 2.1 エコチル調査の今後のロードマップ
エコチル調査コアセンター 新田 裕史
- 2.2 これまでに明らかになったこと、これから明らかにされること
国立成育医療研究センター 大矢 幸弘
- 2.3 質疑応答
- 2.4 エコチル調査への期待
参加者代表 / 愛知県医師会長 他

閉会 16:00